

新年のごあいさつ



越前町長

内藤 俊三

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族揃いでお健やかに新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。

また、日頃は町政に対し格別のご支援ご協力を賜り深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は、合併10周年を記念して多彩な事業を展開してまいりました。お陰様をもちまして、記念事業を通して、町を盛り上げ、まちの良さや魅力を再発見し、そして郷土への愛着心を高めることができたのではないかと思います。来る2月1日には、合併記念事業の総仕上げとして合併記念式典を挙行し、式典に合わせて、イメージビデオや越前ふるさと音頭の発表、そして元NHKアナウンサー堀尾正明氏を招聘してのシンポジウムを開催し、未来につなぐ、私たちのふるさと越前町を町民の皆様とともに考えてみたいと思っております。

また、昨年は、福井県の新高速交通体系の幕開けに合わせ、本町の観光産業の更なる振興を図るため、越前町観光連盟を設立し、「観光立町」をめざして様々な観光事業を進めてまいりました。昨年11月には、観光の拠点として

整備してまいりました道の駅「越前」が無事完成し、オープン以来、越前が「越前水仙のシーズン」とも相まって、連日、多くの観光客にお越し頂いています。まさに、合併10周年の節目の年を「観光元年」として位置づけ、出発できた年であったように思います。

一方、町の明るい話題としては、丹生高校ホッケー男子が選抜、インターハイ、国体と3冠を達成し、インターハイと国体については連覇という快挙を成し遂げ、一般成年男子も国体で3位になるなど、輝かしい成績を残してくれました。また、先の総選挙で本町の助田重義衆議院議員が比例代表で見事再選され、皆様とともに、心から祝い申し上げたいと存じます。

今年は、私も町長に就任して3年目となり、折り返しの年でもあります。越前町の未来を育むための予算を編成し、明るく住みよいまちづくりのために全力で邁進してまいる所存でございます。観光面では、引き続きオープンした道の駅「越前」を拠点として、越前海岸に訪れる多くの観光客を歴史と伝統に満ちた織田、宮崎、朝日地区へと誘い、豊富な観光資源を活かして1分1秒でも長く越前町に滞在しても

らせるよう「オール越前」のおもてなしを推進してまいります。特に、観光は地域づくりそのものですので、町内の地場産業と結び付けることが大切であると考えています。そして、基幹産業である農林水産業については、将来にわたって引き継いでいけるよう、体質の強化に向けて生産基盤の継続的な整備と担い手の育成を図ってまいります。伝統産業である越前焼については、実用的で売れる商品として町内の観光産業とのコラボを更に進めるほか、東京など大都市や海外でのキャンペーンも実施し、振興を図ってまいります。福祉面では、織田保健福祉センター内に新たに児童デイサービスセンターを設置し、弱い立場である障がい児の集団生活への適応を図るための指導および訓練などにも新たに取り組み、福祉の充実に努めてまいります。そして、国が進める「地方創生」を根柢に、婚活から妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実や、観光と地場産業の活性化による働く場の確保、さらには低廉でゆとりのある宅地の提供など、若者が安心して定住できる活気あふれるまちづくりを積極的に進めてまいります。

年頭にあたり、町民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。重ねてお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



越前町議会議長

安井 賢二

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、新春を健やかに迎えることと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、町議会の活動に対し、皆様の温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は豪雨や台風等により、全国各地に甚大な被害が発生しました。特に、8月には記録的な大雨により、

広島市北部で大規模の土砂災害、また9月には御嶽山が突然噴火し、多くの登山客が犠牲となりました。これらの災害により、お亡くなりになられた方々に対し、謹んでご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

越前町においても、大規模災害の発生に備え、消防防災体制の充実・強化が必要な中、越前消防団宮崎地区第1分団（江波地区）が福井県代表として、第24回全国消防操法大会に出場し、13位の好成績となる見事な消防操法を披露されたことは、大変頼もしく感じま

した。

国政においては、第2次安倍内閣改組では地方創生担当相を設置し、重要課題である元気で豊かな「地方創生」の長期ビジョン、総合戦略を取りまとめ人口減少対策に全力を挙げるとしましたが、11月21日に突然衆議院が解散し、12月14日に投開票が行なわれ、結果、自公連立の圧勝となりました。

また、本町の助田重義衆議院議員が見事再選されましたことは、町民の皆様とともに、お祝い申し上げます。さて、政府は平成27年度予算要求で地方創生に一兆円を充て、アベノミクス効果を地方に波及させ、地域の活性化を図ることとしています。

本町としても、厳しい財政状況ではありますが、国が示す施策に応じて、行政と議会が一元となって、自治体の独自性を生かし、特色ある町づくりを目指して頂きたいと思っております。

昨年の明るい話題としては、ノーベル物理学賞を赤崎・天野・中村の3氏

が受賞、また舞鶴若狭自動車道の新線開通により敦賀インターチェンジから東尋坊などへ至る、広域観光の案内拠点としての、道の駅「越前」のオープン、そして丹生高校男子ホッケーにおいては、長崎国体で連覇を果たし、全国高校選抜、全国高校総体を含めて3冠を勝ちとられたことは、越前町だけでなく、福井県のスポーツ界に新たな歴史を築き上げました。また、全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会においても男子は2年連続優勝、女子は3年連続優勝と明るい話題となったところでです。

今年は、2月1日に合併10周年記念式典を開催し、町民の方々と共に、お祝いをしたいと思います。

議会は、行政のチェック機能や審議能力だけでなく、地域の特性を活かした街づくり、議員自ら政策提案するための能力の向上を図らなければならないと思っております。

新しい年を迎え、議会が住民の付託に応えられるよう議会の改革を推進する所存であります。本年も町民皆様の議会に対する深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。